

栃木県で発生した豚熱 6 農場の豚熱ウイルス感染豚の組織病変のスコア化と *in situ* hybridization の評価

手塚優奈^{1)†} 土合理美²⁾ 戸崎香織¹⁾ 平野佳世³⁾ 芝原友幸^{4),5)}

1) 栃木県県央家畜保健衛生所 (〒 321-0905 宇都宮市平出工業団地 6-8)

2) 栃木県県北家畜保健衛生所 (〒 329-2747 那須塩原市千本松 800-3)

3) 栃木県県南家畜保健衛生所 (〒 328-0002 栃木市惣社町 1439-20)

4) 国研農業・食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門
(〒 305-0856 つくば市観音台 3-1-5)

5) 大阪公立大学大学院獣医学研究科 (〒 598-8531 泉佐野市りんくう往来北 1-58)

(2025 年 10 月 7 日受付・2026 年 2 月 3 日受理・2026 年 8 月 15 日公開)

要 約

日本で流行している豚熱ウイルス (CSFV) JPN/1/2018 株は、中等度病原性を持つと評価されており、栃木県内では過去 5 年間で 6 農場で豚熱が発生した。合計 23 頭の豚熱の患畜を対象に病理組織学的検査を行い、病変をスコア化して評価及びその要因検討を行った。検査の結果、脾臓、腎臓、体表リンパ節に出血性及びリンパ球減少の病変がみられたが、スコアを変動させる要因については解明に至らなかった。また、免疫組織化学的検査 (IHC) とあわせて *in situ* hybridization (ISH) を実施したところ、ISHの方がIHCよりも感度が高かった。さらに、ISHでは、脳炎病変に一致した陽性シグナルを認め、CSFVと脳炎との関連性が証明された。

——キーワード：豚熱，豚熱ウイルス，病理組織学的検査，免疫染色，*in situ* hybridization.

----- 日獣会誌 79, e130～e136 (2026)



本文はこちら
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jvma/79/8/79_e130/article-char/ja